



平成 20 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ト ラ イ ア イ ズ
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 池 田 均
(コード 4840 大証ヘラクレス市場 G)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 部 長 赤 根 克 洋
電 話 0 3 (5 7 7 4) 9 6 5 1

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 8 月 15 日の中間決算短信で公表しました平成 20 年 12 月期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）
(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	6,200	△ 47	△ 32	55	△35円61銭
今回修正予想(B)	6,670	△ 380	△ 461	△ 993	△637円35銭
増減額(B-A)	470	△ 333	△ 429	△ 1,048	△601円74銭
増減率(%)	8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成19年12月期)	1,161	△640	△283	185	110円45銭

2. 平成 20 年 12 月期（個別）業績予想数値の修正（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）
(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	141	△ 238	△ 227	△ 80	△51円80銭
今回修正予想(B)	136	△ 250	△ 334	△ 867	△556円48銭
増減額(B-A)	△ 5	△ 12	△ 107	△ 787	△504円68銭
増減率(%)	△ 4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成19年12月期)	260	△293	△56	240	142円86銭

3. 修正の理由

当第3四半期連結会計期間の業績ですが、個別事業業績としては、ITソリューション事業の株式会社トライアイズソリューションにおいて、前期末からの大幅な戦略転換を以て売上拡大を目指してまいりましたが、予想以上に売上が伸びず、当四半期時点での売上高は162百万円、営業損失は81百万円となる見込です。もう一つの重要な事業ポートフォリオである建設コンサルタント事業の株式会社アイ・エヌ・エーにおいては、当四半期に経費削減委員会を中心として推し進めている経費削減策が実際に効果を表し始めております。その結果、売上高は4,844百万円、営業利益が13百万円となる見込です。一方、本社機能ですが、本来経費しか発生せず、金融収益でカバーすべきところが十分ではなく、連結業績としては売上高5,422百万円、営業損失282百万円となる見込です。昨年から本年にかけて事業取得用に用意した外貨が、当四半期にも急激な円高の影響を受け損失がおおよそ35百万円増加することとなりました。これが業績を悪化させる一因となりました。また、当社で保有していたリーマン・ブラザーズ・グループ発行のシニア債に関しまして、発行体であるリーマン・トレジャリーズB.V.が破産手続きに入ったことを受けて、真に遺憾ながら保有している額面500百万円全額を減損処理することといたしました。今後の弁済に至るまでのスケジュールが不確定であり、現段階において回収額の正確な見積もりもできないことから、保守的会計の原則に基づき減損処理は不可避であると判断いたしました。その結果として当四半期の当期純損失は870百万円になる見込であるため、通期業績の見通しを修正いたします。

(注) 上記業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上